

2006 年第 3 回知的財産翻訳検定〈英文和訳〉

機械工学分野 標準解答

問 1

【請求項 1】

1 枚またはそれより多い枚数の折り畳み可能媒体シートを同時に折り畳むように作動できる紙折り装置であって、

折り畳み可能媒体シートを保持するように作動できるホッパーと、

前記ホッパーに連動し、第 1 の位置と第 2 の位置の間を移動でき、前記第 1 の位置にあるときに前記ホッパー内の前記折り畳み可能媒体シートと係合し、前記第 2 の位置にあるときに前記折り畳み可能媒体シートを解放するように作動できるシャトルと、

前記シャトルから前記折り畳み可能媒体シートを受け取って前進させるように作動できる送り渡し装置と、

前記折り畳み可能媒体シートを前記送り渡し装置から受け取って前進させるように作動できるコンベヤと、

前記折り畳み可能媒体シートを前記コンベヤから受け取って、前記折り畳み可能媒体シートを折り畳み、前記折り畳まれたシートを前進させるように作動できる折り畳みローラ装置と、

を備えている紙折り装置。

【請求項 2】

前記シャトルが本体を備え、前記本体が内部チャンバを画成するとともに、上面、下面および前面を有し、前記上面が前記内部チャンバと連通する複数の孔を備えている、請求項 1 に記載の紙折り装置。

問 2

DESCRIPTION OF THE RELATED ART

[0001] 従来のタービンエンジンには、連続流型の機械的供給系に関する、顕著な制約がいくつもある。制約には、少なくとも下記のものが含まれる。

(1) 連続流ではなく小滴の形で燃料を燃焼室に導入した場合に比べて、燃料燃焼の効率が劣る。

(2) 燃料が不均一に燃料室の各部に供給される可能性があり、その場合にはただでさえ非効率的な燃焼をさらに悪化させる要因になる。

(3) 排気ガスに未燃焼燃料が含まれている場合が多く、大気汚染の要因になりかねない。

(4) 重要な動作変数（例えば、流速、空気消費量、負荷変動、等）に対する燃料供給プロセスの調整を希望精度で制御できない制御システムが備わっている場合が多い。

(5) システムの操作／維持管理が難しい場合がある。

(6) 可動部品が多いために制御系が複雑になり易い。

(7) 上記燃料供給系・制御系でタービンの重量が不要に大きくなる場合がある。これは、特に航空の分野では問題である。

(8) 燃料供給／制御系が複雑で機械公差が厳密なため、生産や組み立てのコストが高くなる場合がある。

(9) 機械的な系のため、レスポンスが遅いという固有の問題を抱えている。

[0002] 本発明は、二つの主要な特徴によって上記制約の克服を図るものである。第一の特徴としては、連続流型の供給系は用いずに、燃料噴射装置で燃料をパルス状にて燃焼室に噴射する。

問3

【発明を実施するための最良の形態】

[0011] 以下、図面を参照して、発明の実施の形態を例示的に説明する。図1は本発明の格納装置の第一の実施例を示す平面図、図2は図1の線A-Aに沿った断面図、但し装置の筐体構造を示すために内部構造物を除いた図である。

[0012] 図1及び図2に本発明の一実施の形態の格納装置10を示す。格納装置10は挿入／取出し用開口部14が形成された筐体12を備える。開口部14の下方には、装置10から排出されたCD-ROMを受けて保持するための受け枠16が配置されている。この点の詳細は後述する。受け枠16は筐体12に、より具体的には開口部14を画定するボス部18に旋回自在に連結されている。受け枠16には、CD-ROMが開口部14を介して受け枠16上に排出される際にCD-ROMが留まり支持される、長手方向の長穴20が形成されていても良い。筐体12は大別して基底部21、下部筐体22、及び上部筐体24（何れも図2に示す）から成り、その内部に多数のCD-ROMを格納する図不示のカレーセルが収まる。